

学校教育支援事業
Support project for school education

熊本博物館
KUMAMOTO CITY MUSEUM

[実施日]

2014 年 9 月 1 日 ~現在

[実施場所]

熊本博物館

熊本市内小中学校（対象校：小学校 92 校 中学校：42 校）

[関連の深い Goal]

Goal 4 質の高い教育をみんなに

[実施報告]

社会教育・生涯学習施設としての役割を担う博物館ですが、学校との連携（博学連携）についてもその必要性・重要性が一層高まっています。そのような状況をふまえ、当館は『学校教育支援事業』を展開しています。この事業は、博物館から学校に学芸員を派遣する『お出かけ事業』と、学校行事等で児童・生徒の皆さんが博物館を訪れたときに行う『お迎え事業』の2本柱から成ります。どちらも当館で作成（熊本市内の全小中学校に配布）した「プログラム集」を元に、初等教育における質の高い学習活動を支援する事業となっています。

『お出かけ事業』の中心は、主に社会科や理科の学習材として価値のある資料及び学芸員の知識や技能を学習指導に活かす「ゲストティーチャー派遣授業」で、学校からの要請に応じて可能な範囲で授業を行っています。また、当館がリニューアルオープンした平成 30 年 12 月 1 日以降は、常設展示物や収蔵資料の価値や魅力を伝える『館内学習支援活動（お迎え事業）』も始めました。昨年度は延べ 6 校が館内学習を体験し、本年度も 15 校程度が「館内学習」を希望しています。両事業とも、子どもたちからは「とても楽しかった、内容もよくわかった」という好意的な評価、先生方からは「子どもたちが興味深く学習に取り組んでいました。関心・意欲が高まり、学習支援に感謝します」とのご回答をいただいております。

『ゲストティーチャー派遣授業（お出かけ事業）』と『館内学習支援活動（お迎え事業）』の両輪で、学校教育支援と博学連携の更なる充実を目指します。



派遣授業：3年総合的な学習の時間
「たねの不思議」



館内学習：6年社会科
「熊本城と西南戦争」